



## どこダス

### どこダス 概要

位置(どこ?) データ・アセンブリ・システム「どこダス」は、携帯電話が持つ位置情報通知機能を使い、外にいる従業員の位置情報を本部で集約・管理するためのシステムです。

インターネットに接続可能なパソコンさえあれば、後は従業員に携帯電話を持たすだけ(※位置情報送信タイプの場合)で、位置情報管理システムが低コストで実現可能です。

外勤が中心の営業マン、保守サービスマンの管理に、長距離トラック輸送業などのドライバー管理、タクシー・運転代行業、人材派遣業での出勤管理など、様々な業種での利用に対応しています。



### 低コストで高セキュリティ

例えば長距離トラック輸送業の場合。すべてのトラックにGPSカーナビゲーションシステム、通信装置を取り付けた場合は、それだけで1台あたり数十万円という機器導入コスト(※1)がかかってしまいます。また、GPSデータを本部に送る通信費もかなりの額(※2)になります。

(※1) もちろん、「ドライバーがGPSカーナビゲーションシステムを使用できる。」などのメリットも存在します。

(※2) 実質的に携帯電話各社のパケット定額サービスの利用が必要となります。

どこダスの低コストの理由は各社の携帯電話が持つ位置情報通知機能を使うから。ドライバーが持っている携帯電話から位置情報をメールで本部に送るだけ。通信コストはわずか1メール4~5円程度(※3)で済んでしまいます。

(※3) 携帯電話各社のパケット通信割引サービスを利用した場合。1日5回の位置情報通知を行なったとして、1日20~25円。1ヶ月に25日稼働したとして月額コストは500円~625円程度。パケット定額サービスを利用するよりも安価です。

また、携帯電話のメールシステムを利用し、携帯電話会社を経由して送られてきたメールのみを扱うため、高いセキュリティを確保しています。



どこダスは低コスト！！なのに必要十分な機能

### どこダスの2つのタイプ

どこダスには選べる2つのタイプが存在します。

1つはドライバーが停車したときなどに携帯電話を操作して手動で位置情報を本部へ送信する「位置情報手動送信タイプ」。もう1つはドライバーが操作しなくても本部がドライバーの位置情報を自動的に取得する「位置情報自動取得タイプ」です。

各タイプの詳細は、次のページで確認することができます。

## どこダスのタイプ別比較表

タイプ	位置情報手動送信タイプ	位置情報自動取得タイプ
特徴1	本部にパソコンと、ドライバーにソフトバンク、au、ドコモ、主要携帯電話3社の3Gケータイがあれば、簡単に使い始められる。初期導入費、通信費が安価なタイプ。	ドライバーの位置情報を本部が自動取得するため、ドライバーの手間がかからないタイプ。携帯電話を利用して初期導入費を抑える構成と、通信機能内蔵の車載機を使って通信コストを抑える構成がある。
特徴2	ドライバーが現地到着、作業開始・終了、休憩、などの報告業務の一環として本部へ位置情報を通知。リアルタイムな位置情報取得ができない代わりに、圧倒的に安価。	1日あまりリアルタイム(1~5分ごと)に位置情報の取得が可能。ドライバー(車)が今どこにいるか？瞬時に確認できます。

## 位置情報手動送信タイプの詳細

タイプ	位置情報手動送信タイプ					
本部に必要な機器	インターネット接続が可能なパソコン。					
ドライバー(もしくは車)に必要な機器	ソフトバンク 3G 端末		au CDMA 1X WIN GPS対応 端末	ドコモ FOMA 端末		
位置情報精度	※GPS対応 端末	※非GPS 端末	GPS機能を使った正確な位置情報の送信が可能。	※GPS対応 端末	※非GPS 端末	
	GPS機能を使った正確な位置情報の送信が可能。	簡易位置情報取得機能を使い、誤差50m~300m以上。		GPS機能を使った正確な位置情報の送信が可能。	オープンエリアを使い、非常に簡易的な位置情報を取得。	
ドライバー操作	本部へ位置情報を送信するために、ケータイで専用ウェブページにアクセスし、送信ボタンを押す必要がある。					
導入コスト	② 本部にインターネット接続が可能なパソコン、ドライバーにソフトバンク、au、ドコモ、の3Gケータイがあればよい。もっとも安価。					
運用コスト	② 「ホワイトプラン」と「パケットし放題」を併用することで、ケータイを使うタイプの中でもっとも安価なコストに抑えることが可能。		① 「ダブル定額ライト」を適用すれば、通信費を抑えることが可能。ただし、基本料金はソフトバンクよりも若干割高。	① 「パケットパック10」を適用すれば、通信費を抑えることが可能。ただ、基本料金はソフトバンクよりも若干割高。		
使用機器固有の付加機能	-		-	-		

※特に優れている項目

## 位置情報手動送信タイプの詳細

タイプ	位置情報自動取得タイプ		
本部に必要な機器	インターネット接続が可能なパソコン。		
ドライバー(もしくは車)に必要な機器	ソフトバンク 3G 端末	au CDMA 1X WIN GPS対応 端末	通信機能搭載の専用車載機
位置情報精度	※GPS対応端末 GPS機能を使った正確な位置情報の送信が可能。	※非GPS端末 簡易位置情報取得機能を使い、誤差50m~300m以上。	GPS機能を使った正確な位置情報の送信が可能。
	ドライバー操作		
導入コスト	○ 専用アプリケーションを使用するため、初回に使用者数や規模に応じて多少の料金が発生する。		△ 車1台あたり、取り付け費込みで約10万円ほどの専用車載機を購入する必要がある。
運用コスト	△ 携帯電話の基本料金の他、毎月の稼働日数によっては「パケットし放題」の上限金額までの通信費がかかる。	△ 携帯電話の基本料金の他、毎月の稼働日数によっては「ダブル定額」の上限金額までの通信費がかかる。	◎ 専用車載機の通信料は月額900円(税別)の固定料金制。長期的に見るともっともお得なタイプ。
使用機器固有の付加機能	-	-	専用車載機が持つ運行ログ機能を利用可能。ドライバー単位での運行日報出力など、様々な付加機能機能がある。

※特に優れている項目

### ■ 各社の携帯に対応

各社によって位置情報の精度レベルは異なりますが、現在主流になっているすべての3G携帯電話に対応しているのが特徴です。とりあえず既存の携帯電話ではじめてみて、正確な位置情報が欲しくなったら機種変更する...などを考えることもできます。

#### ・SoftBank

Vodafone時代を含む、SoftBankのすべての3G携帯に対応。GPSを搭載した機種では正確な位置情報が。GPSを非搭載の機種でも簡易位置情報通知機能を使って対応できます。従業員の移動範囲が大きい業種の場合、SoftBankの簡易位置情報通知機能でも十分に対応可能です。

#### ・au

数年前からほとんどの端末にGPS機能が搭載されています。GPSを使った正確な位置情報の通知が必要なケースに適しています。

#### ・DoCoMo

GPSを搭載したFOMAの場合、正確な位置情報の通知が可能です。GPSを非搭載なFOMAでは、「オープンエリア」という全国を505のエリア(※)に区切った位置情報通知機能が利用可能です。  
(※) 2007年2月20日 現在。  
位置情報の精度はSoftBankの簡易位置情報通知機能よりもさらに落ちるので、限定した業種のみでの使用をおすすめしています

### ■ CTIシステム「接客ナビ」と連携可能

CTIシステム「接客ナビ」との連携が可能！地図連携機能でお客様の場所を確認。どこダスでお客様の近くにいる営業マン、サービスマンを確認。お客様の情報を位置データ付きでメール送信。電話、地図、位置情報が融合したシステムが構築可能。顧客満足も上がります。



## 株式会社 アンソネット

〒810-0021 福岡市中央区今泉1丁目10-12 IONビル 4F  
TEL (092)725-5600 FAX (092)724-1454

詳しくはこちらをご覧ください

URL:<http://www.anthnet.co.jp/cti/>

E-mail:[info@anthnet.co.jp](mailto:info@anthnet.co.jp)